

2022 年 5 月 18 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社



株式会社 JERA が発行するトランジションボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下当社)は、このたび、株式会社 JERA が発行するトランジションボンド⁽¹⁾(5 年債・120 億円、10 年債・80 億円、以下、本社債)の引受けにおいて共同主幹事及びストラクチャリング・エージェント⁽²⁾を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

株式会社 JERA は、「世界のエネルギー問題に最先端のソリューションを提供する」ことをミッションに掲げ、2025 年に向けたビジョンとして「クリーン・エネルギー経済へと導く LNG と再生可能エネルギーにおけるグローバルリーダー」を目指し、様々な取り組みを進めてきました。2020 年 10 月には「JERA ゼロエミッション 2050」を掲げ、再生可能エネルギーとゼロエミッション火力の相互補完によって 2050 年における当社事業からの CO2 排出量ゼロを目指すこととし、水素・アンモニアの導入に向けた技術開発や投資を行ってきました。また、2022 年 5 月には、長期的に目指す姿を明確にすることとし、2035 年に向けた新たなビジョンを策定し、さらに取り組みを進めています。

本社債は、経済産業省の「令和 3 年度クライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業に係るモデル事例」に国内電力業界で初めて選定されており、適合性と透明性の確保及び投資家への訴求力向上のため、ICMA クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック 2020、ICMA グリーンボンド原則 2021、金融庁・経済産業省・環境省クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針(2021 年 5 月版)及び環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関である DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より適合性について評価を取得しています。

2006 年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金使途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

銘	柄	名：	株式会社 JERA 第 8、9 回社債 (社債間限定同順位特約付) (トランジションボンド)	
			第 8 回債	第 9 回債
発	行	年	限： 5 年	10 年
発	行		額： 120 億円	80 億円
利			率： 0.420%	0.664%
発	行		日： 2022 年 5 月 24 日	
償	還		日： 2027 年 5 月 25 日	2032 年 5 月 25 日
資	金	使	途： ゼロエミッション火力の実現に向けた化石燃料とアンモニア・水素の混焼実証及び高効率火力発電所への建て替えを目的とした既存非効率火力発電所の廃止に関する支出	
取	得	格	付： A+(株式会社格付投資情報センター) AA-(株式会社日本格付研究所)	
主	幹	事：	みずほ証券株式会社 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 BofA 証券株式会社 野村証券株式会社	みずほ証券株式会社 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 東海東京証券株式会社 野村証券株式会社 BofA 証券株式会社

- (1) トランジションボンドとは、パリ協定の実現に向けた中長期的な移行戦略(トランジション)があり、かつ資金途限定の債券
- (2) フレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、トランジションボンド等の発行支援を行う者

※SDGs 債ロゴについて

日本証券業協会によると、調達資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券、いわゆる「SDGs 債」には、SDGs の中でも環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則(例えば、国際資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則、サステナビリティボンド・ガイドラインなどを指します。)に沿った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。当該ロゴは、前述の条件に適合する債券等に対し、使用を認められているものです。

以 上